

平成30年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	芸術	科目名	美術	単位数	2	履修学年・クラス	1学年
担当者	使用教材 『高校生の美術1』(日本文教出版)						
学習目標	○美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現の能力と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。						
学習方法	○授業における課題に対して自ら考え、意図に応じて材料や用具の特性を生かしながら、表現方法を工夫し、定期的に課題を提出する。 ○自他の作品について、対象のとらえ方や感じ方、同一テーマによる表現の違いとそれぞれのよさなどに気づき、評価することで、自他の特性や個性について理解を深める活動を行う。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	関	関心・意欲・態度	美術の創作活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。				
	発	発想・構想の能力	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。				
	技	創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。				
	鑑	鑑賞の能力	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。				

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
前期中間	○鉛筆デッサン	<ul style="list-style-type: none"> ・形体・空間の観察・把握 ・材料の理解と表現の工夫 ・他者の作品への評価 	○	○	○	○	[関]形体や空間に関心を持ち意欲的に表現しようとしている。 [発]形体や空間を把握しながら画面構成をすることができる。 [技]鉛筆の特性を生かしたデッサンができる。 [鑑]他者の作品の良さや、工夫しているところを感じ取ろうとしている。	・授業態度 ・作品提出状況 ・作品の完成度 ・他者の作品への評価
	○水彩画	<ul style="list-style-type: none"> ・水彩絵の具の特性理解 ・構図を考えた配置 ・色彩を理解した配色 	○	○	○	○	[関]水彩画に関心を持ち意欲的に表現しようとしている。 [発]対象を生かす配置や構成を考えることができる。 [技]水彩絵の具の特性を生かした表現ができる。 [鑑]他者の作品の良さや、工夫しているところを感じ取ろうとしている。	
前期末	○切り絵	<ul style="list-style-type: none"> ・元絵からその絵の本質的な線を見つけ出し、工夫し単純化させる。 ・意図を吟味しながら根気強く作業する ・カッターなど用具の使い方についての理解 	○	○	○	○	[関]切り絵に関心を持ち自己の作品に生かそうとする。 [発]切り絵の魅力を感じ取り創造的な表現の工夫をする。 [技]カッターの使い方や切り絵の手順を理解して作業を進める。 [鑑]他者の作品の良さや、工夫しているところを感じ取ろうとしている。	・授業態度 ・作品提出状況 ・作品の完成度 ・他者の作品への評価
後期中間	○ロゴデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・印象やプロポーションを考えた画面構成 ・ポスターカラーの塗り方を習得する ・他者の作品への評価 	○	○	○	○	[関]形や色彩に興味を持ち意欲的に表現しようとしている。 [発]形や色がもたらす効果を理解し、自分なりの表現を工夫する。 [技]絵の具を溶く際の水の量や筆の使い方をマスターする。 [鑑]他者の作品を見て、工夫した点や効果的な画面構成を学ぼうとする。	・授業態度 ・作品提出状況 ・作品の完成度 ・他者の作品への評価
後期末	○彫刻	<ul style="list-style-type: none"> ・木という自然の素材の美しさ、それを彫刻するを味わう ・対象をよく観察し、対象や動きを捉える ・木彫における材料、用具について理解して制作できるようにする 	○	○	○	○	[関]木彫について関心を持ち意欲的に表現しようとしている。 [発]木の性質を考えた表現を考える事ができる。 [技]木の性質を大切にしながら彫刻刀を使って制作することができる。 [鑑]他者の作品の作品の良さや、工夫しているところを感じ取ろうとしている。	・授業態度 ・作品提出状況 ・作品の完成度 ・他者の作品への評価